北海道地方

名前

問1　北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから
2. 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから
3. 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから
4. 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから

問2　札幌市中心部を描いた2万5千分の1の地形図において、JR札幌駅から札幌市役所（地点B）までの図上の長さを測定したところ、ちょうど3cmであった。このとき、これら2地点間の実際の距離として適切なものはどれか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 1000m
2. 500m
3. 250m
4. 750m

問3　北海道の地理的特徴や自然環境について述べた次の文のうち、知床半島に関連する記述として正しいものはどれか。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 亜熱帯の気候に属し、独自の進化を遂げた固有種が多く生息することから、小笠原諸島とともに世界自然遺産に選ばれている。
2. 親潮（寒流）の影響を強く受けるため、夏季には季節風が温められて上昇し、年間を通して降水量が非常に多い地域である。
3. 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。
4. 流氷が接岸する北限の地として知られ、広大な泥炭地が広がることから、全域が世界文化遺産に登録されている。

問4　地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
2. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。
3. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
4. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。

問5　北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 製造業や建設業を主体とする第二次産業
2. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業
3. 商業やサービス業を主体とする第三次産業
4. 農林水産業を主体とする第一次産業

問6　北海道の酪農において、近年の統計で見られる「飼育戸数が減少しているにもかかわらず、全体の生乳生産量が増加している」という現象の背景にある、生産体制の工夫を説明する用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 施設園芸農業と有機栽培
2. 地産地消と手作業の重視
3. 経営規模の拡大と機械化
4. 減反政策と多角経営

問7　北海道のオホーツク海沿岸で見られる流氷について、近年の地域社会における役割や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。（2021年 兵庫県公立入試 類似）

1. 地熱発電のエネルギー源として利用され、周辺地域の電力をすべてまかなっている。
2. 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。
3. 大規模な稲作を行うための水資源として、春先の用水路に直接引き込まれている。
4. 流氷の移動を妨げないように、沿岸部では一切の漁港建設が禁止されている。

問8　北海道の地形や都市の配置について説明した次の文章のうち、地理的状況を正しく説明しているものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。
2. 日本海に面した網走市では、冬にカリブ海から流れてくる流氷を観察することができる。
3. 道南の志苔館跡や洞爺湖がある地域は、主にオホーツク海の影響を強く受けている。
4. 内陸盆地に位置する旭川市から西へ進むと、オホーツク海に面した小樽市の港が見える。

問9　北海道の都市である根室市と札幌市の気象統計を比較すると、夏季（特に6月から8月にかけて）の根室市の日照時間は札幌市よりも著しく短いことがわかります。この要因となっている気象現象を何といいますか。（2019年 静岡県公立入試 類似）

1. やませ
2. 海霧
3. ヒートアイランド現象
4. フェーン現象

問10　北海道における人口分布の変化について、1950年から2010年までの統計的な傾向を説明した文として正しいものはどれですか。なお、この期間において北海道全体の人口は約430万人から約551万人へ、札幌市の人口は約62万人（1960年）から約191万人へと推移しています。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 北海道全体の人口増加に比例して、道内すべての市町村の人口が均等に3倍以上になった。
2. 札幌市の人口は1960年から2010年にかけて、北海道全体の人口増加分を補えないほど減少した。
3. 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。
4. 道内人口に占める札幌市の割合は、1960年から2010年にかけて一貫して減少傾向にある。

問11　北海道の農業経営に関する二〇〇五年から二〇二〇年の推移について、統計的な事実として正しい説明はどれですか。なお、この期間において農業経営体の総数は減少しており、経営耕地面積の合計は約百七万ヘクタールから約百三万ヘクタールへと微減しています。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 農業経営体と団体経営の数がともに増加したため、耕地の奪い合いが起きた
2. 団体経営の割合が低下したため、一経営体あたりの経営耕地面積は縮小した
3. 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ
4. 経営耕地面積が微減した主な原因は、団体経営の数が大幅に減少したことにある

問12　北海道東部に位置し、広大な土地を活かしてジャガイモ、小麦、てんさい（ビート）、豆類などを大規模に生産している、日本を代表する畑作地帯の名称を選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. 根釧台地
2. 十勝平野
3. 石狩平野
4. 庄内平野

問13　日本の人口約1億2700万人に対し農業従事者が約340万人（約2.6%）である統計と、北海道の人口約538万人に対し農業従事者が10.4万人（約1.9%）である統計を比較したとき、北海道の人口に対する農業従事者の割合に関する説明として正しいものはどれですか。（2021年 兵庫県公立入試 類似）

1. 人口規模に比例して、農業従事者の割合は全国平均と一致している
2. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を上回っている
3. 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている
4. 大規模農業が盛んなため、人口に対する農業従事者の割合は全国で最も高い

答え合わせ・解説

問1	答え 3 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから	太平洋側の根室は、夏に千島海流などの寒流と南東からの季節風の影響で気温が低く抑えられます。一方、日本海側の札幌は、冬に対馬海流などの暖流の上を通る北西の季節風の影響を受けるため、降雪量が多くなります。
問2	答え 4 750m	2万5千分の1の地形図では、実際の距離を25,000分の1に縮小して描いている。そのため、図上の1cmは実寸で25,000cm（250m）に相当する。図上の長さが3cmである場合、250mを3倍した750mが実際の距離となる。単位をセンチメートルからメートルへ換算する計算過程を正確に行うことが重要である。
問3	答え 3 世界自然遺産に登録されており、海と陸の生態系のつながりが保たれているほか、周辺にはラムサール条約登録湿原もみられる。	知床は、流氷が運ぶ栄養分による海洋生態系と、それを糧にするヒグマやシマフクロウなどの陸上生態系が密接に関わっている点が評価され、世界自然遺産となりました。選択肢にある「季節風が温められて」という記述は、親潮が寒流であることを考えると誤りです。また、小笠原諸島は「東洋のガラパゴス」と称されますが、知床とは気候帯も登録理由も異なります。
問4	答え 3 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問5	答え 3 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主力的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問6	答え 3 経営規模の拡大と機械化	酪農家1戸あたりの飼育頭数を増やして効率を上げる「経営規模の拡大」と、搾乳ロボットなどの導入による「機械化」が組み合わさることで、労働負担を軽減しながら高い生産性を確保しています。統計上でも、100頭以上の大規模な飼育戸数の増加や、搾乳ロボットの普及率の劇的な上昇にその傾向が表れています。
問7	答え 2 冬の時期に観光用の砕氷船が運行されるなど、地域の貴重な自然観光資源となっている。	流氷はかつて船舶の航行や漁業を妨げるものとして捉えられる側面もありましたが、現在では網走市や紋別市などで観光用の砕氷船が運行されるなど、冬の北海道を象徴する重要な観光資源として位置づけられています。農用水としての利用や地熱発電とは関係がなく、自然環境との共生を図りながら地域経済に貢献しています。
問8	答え 1 道北の稚内市から海岸線沿いに南東方向へ進むと、オホーツク海に面した網走市に到達する。	北海道の北端にある稚内市は日本海とオホーツク海の境界に位置しており、そこから東側の海岸線を下ると網走市があるオホーツク海沿岸に至ります。旭川市は内陸の盆地に位置し、その西側にある小樽市が面しているのは日本海です。また、流氷が押し寄せるのは北海道の北東に位置するオホーツク海であり、カリブ海や東シナ海はこの地域には存在しません。
問9	答え 2 海霧	北海道の太平洋側に位置する根室市や釧路市では、夏に発生する「海霧（移流霧）」の影響を強く受けます。暖かく湿った空気が親潮の冷たい海面によって冷やされて発生するこの霧は、長い時には数日間にわたって沿岸部を覆うことがあり、夏場の日照時間を大幅に減少させる直接的な原因となっています。一方、内陸や日本海側に位置する札幌市などはその影響を受けにくいため、日照時間に大きな差が生じます。
問10	答え 3 北海道全体の人口が緩やかに増加する中で、札幌市の人口はそれを大きく上回るペースで増加した。	数値データを確認すると、北海道全体では約1.3倍の緩やかな増加であるのに対し、札幌市は50年間で3倍以上に達しています。札幌市という一つの都市が、道全体の人口成長を牽引すると同時に、道内の他の地域から人口を吸収する形で拡大を続けてきたことが読み取れます。これが道内における人口集中の実態です。
問11	答え 3 農業経営体の総数は減少したが、団体経営の数は増加し、経営の集約化が進んだ	二〇〇五年から二〇二〇年にかけて、農業経営体数は五百四十七から三百四十九へと減少していますが、団体経営は三十五から四十三へと増加し、その割合は約十二パーセントに達しています。全体の耕地面積に大きな変化がない中で経営体数が減っている事実は、一経営体あたりの規模が拡大し、農業経営が特定の経営体に集約・大規模化されていることを裏付けています。
問12	答え 2 十勝平野	北海道の東部に広がる十勝平野は、1戸あたりの耕地面積が極めて広く、大型機械を活用した大規模な畑作が行われている地域です。選択肢にある石狩平野は稲作、根釧台地は酪農が盛んな地域であり、それぞれの土地利用の特色を区別することが重要です。
問13	答え 3 全人口に対する農業従事者の割合は、全国平均を下回っている	北海道は日本最大の食料供給基地であり、広大な耕地面積を有していますが、全人口に対する農業従事者の割合は約1.9%であり、全国平均の約2.6%を下回っています。これは、札幌市などの都市部に人口が集中していることや、1戸あたりの経営面積が大きく、機械化によって少ない人数で効率的な生産が行われていることが要因として挙げられます。